

自然と共に生きるためのマナー

大自然とのふれあいと適度な運動、ストレス社会と呼ばれる現代で「里山歩き」はわたしたちに健康と癒やしを与えてくれます。週末の鐘撞堂山には、たくさんの人々が、日々の忙しい生活から離れハイキングに訪れます。しかし、一部マナーを守らない登山者や、自然への理解不足などによって、この貴重な自然が脅かされています。

「以前見つけたシュンランやヤマユリが今日は無い…」

最近、鐘撞堂山では山野草を掘り取っていく登山者が後を絶ちません。

登山ブーム、ガーデニングブームなどにより自然へ目を向ける人が増え、「趣味の山野草」も人気を集めています。

しかし、自然がわたしたちに与えてくれる癒やし効果などへの興味とは裏腹に、自然保護の意識やマナー



春蘭（シュンラン）

日本産のランで、山などで見つけることもできます。淡黄緑色の花で、唇弁は白っぽく紫の斑点があります。



山百合（ヤマユリ）

ふうぼう 風貌が豪華で華麗であることから、ユリの女王といわれています。花の色は白色で花弁の内側中心には黄色の筋、紅色の斑点があります。

が浸透していないことが問題です。そのため、登山中珍しい花を見つけただけで軽い気持ちで掘り採ってしまつています。

また、人気の高まりにより販売目的での盗掘も行われ問題視されています。ブームの影で自然が破壊されています。

自然は与えてくれる存在ではなく、共に生きる存在として思いやりを持つことが大切です。

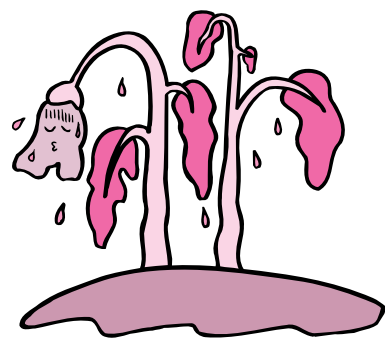


「ごみは必ず持ち帰りましょう。生ごみであっても分解には時間がかかり異臭を放つたり野生動物がそれを目当てに出没するなど、少なからず自然に影響を及ぼします。」



む やみに草花を採ることはやめましょう。山野草は長い年月かけてそこに根付いたものです。観察したり写真に撮って楽しみましょう。

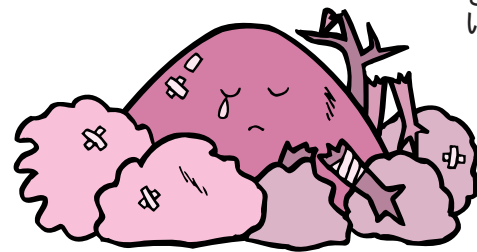
なお、植物は環境の変化に弱いので持ち帰っても自宅に育てるのは困難です。



登 山道にはトイレがありません。やむを得ず用を足す時は、山林の中ですることになります。排せつ物は山の浄化作用によりある程度分解されますが、紙類（特にティッシュペーパー）は分解されません。

ビニール袋や携帯トイレなどを用意し必ず持ち帰るようにしましょう。

また、登山者の増加により山の浄化機能が追いつかなくなる事態も考えられます。山に入るときは事前にトイレに行くよう心掛けてください。



マムシ：平成18年7月鐘撞堂山にて撮影

里山歩きのマナー

散 策路以外には立ち入らないようにしましょう。鐘撞堂山でも山菜採りに入つたものの道に迷い下山できなくなる例があります。

また、マムシやハチなどに遭遇することもあり危険です。

山を守る活動

鐘撞堂山の自然は、大勢のかたのボランティア活動により守られています。あなたも、自然へ恩返しをする活動に参加してみませんか？

ふるさとの森サポーター

年2回の「下草刈り」や植栽活動を行っています。



下草刈り：平成18年7月実施風景
植栽した造林木の生育の支障となる草本、灌木、萌芽、ササ類、シタ類などを刈り払います。

ふるさとの森監視員

年間を通して、入山者の指導や災害の早期発見、森林保護の普及活動を行っています。

ふるさと森サポーター、ふるさとの森監視員は随時募集しています。

問い合わせ 農業振興課（574

6648）へ